

平成28年11月5日（土） 仙台市総合防災訓練（津波避難訓練） アンケート調査集計結果

1 調査目的

津波避難の現状や防災意識を調査し検証することにより、今後の津波避難対策の参考とする。

2 調査対象者及び回収数

(1) 調査対象者

津波避難訓練において、津波避難エリア内及び周辺の避難場所（小・中学校、津波避難施設等）へ避難された方（地域住民、事業所従業員等：1,266人）。

(2) 有効回収数

675票

3 調査機関

仙台市危機管理室防災計画課

4 調査集計結果概要

・避難時間

地震発生時刻後15分以内に避難を開始した方が87%、30分以内に避難場所に到着した方が87%、45分以内に到着した方が94%であった。

・移動手段

「徒歩」又は「自転車・バイク」が91%、「車」が8%であった。

・平時からの備え

避難場所を決めている方が85%、非常用持出袋を用意している方が58%であった。

結果詳細は次ページ以降に掲載

※ この調査結果は、津波避難訓練に参加された方（地域住民、事業所従業員等：1,266人）のうち、アンケートに回答された方（有効回収数：675票）についてまとめたものである。

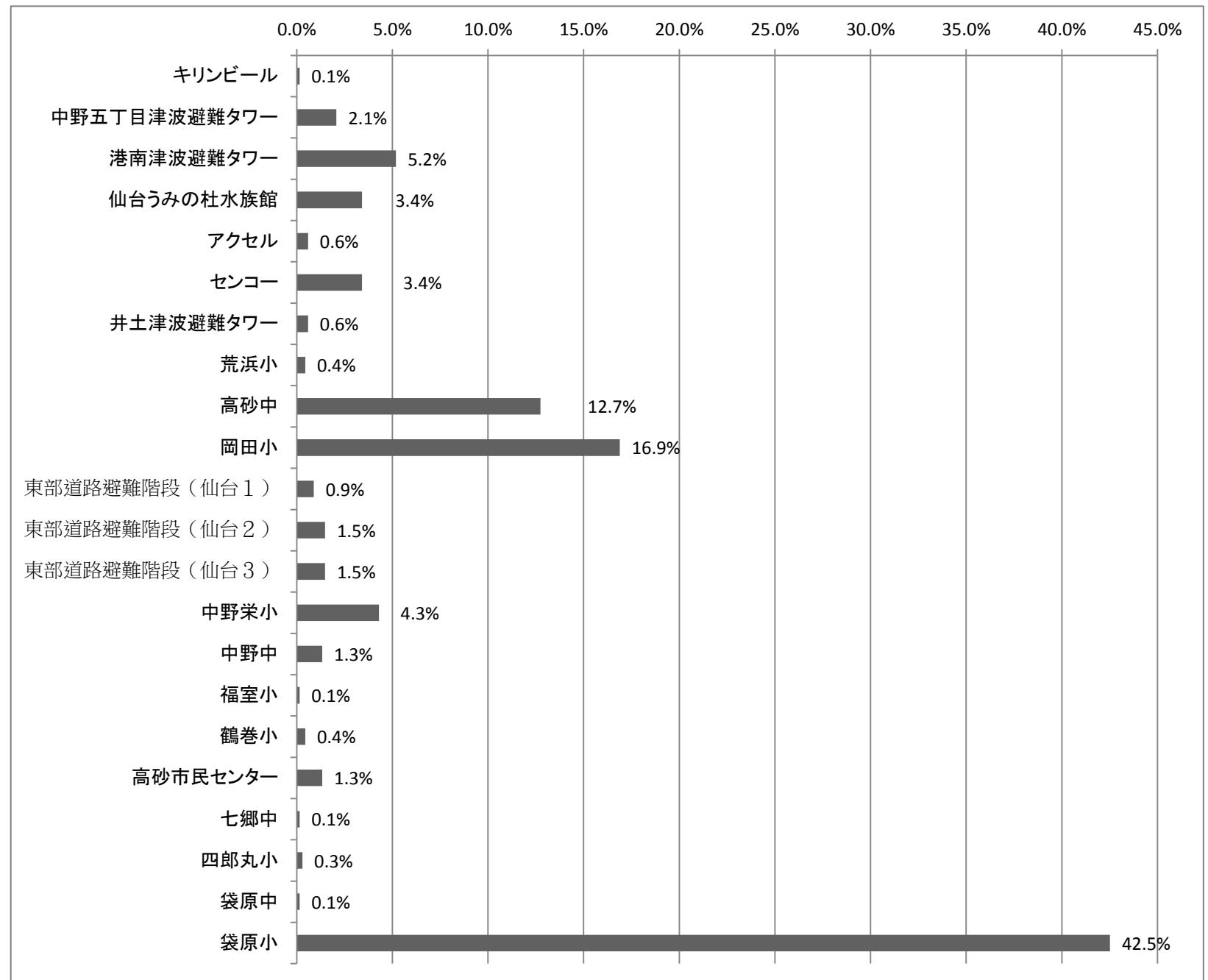
※ Nとは、その設問項目の回答数である。

※ %値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記しており、合計が100%にならない場合がある。

※ 複数回答では、回答件数の合計が回答者数（100%）を超える場合がある。

■各避難場所におけるアンケート回収状況（N=675）

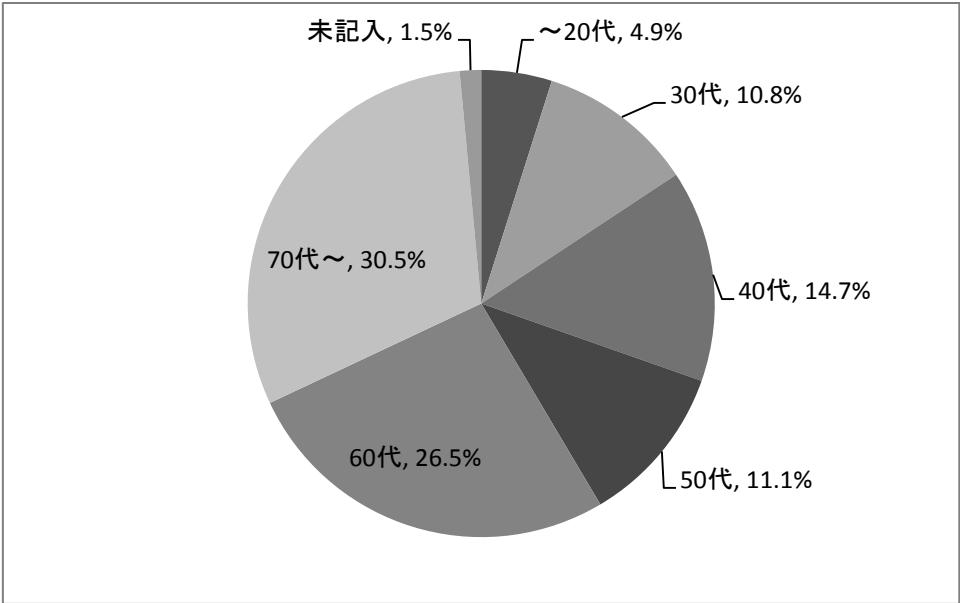
避難場所	人数	割合
キリンビール	1	0.1%
中野五丁目津波避難タワー	14	2.1%
港南津波避難タワー	35	5.2%
仙台うみの杜水族館	23	3.4%
アクセル	4	0.6%
センコー	23	3.4%
井土津波避難タワー	4	0.6%
荒浜小	3	0.4%
高砂中	86	12.7%
岡田小	114	16.9%
東部道路避難階段（仙台1）	6	0.9%
東部道路避難階段（仙台2）	10	1.5%
東部道路避難階段（仙台3）	10	1.5%
中野栄小	29	4.3%
中野中	9	1.3%
福室小	1	0.1%
鶴巻小	3	0.4%
高砂市民センター	9	1.3%
七郷中	1	0.1%
四郎丸小	2	0.3%
袋原中	1	0.1%
袋原小	287	42.5%



■回答者の構成 (N=675)

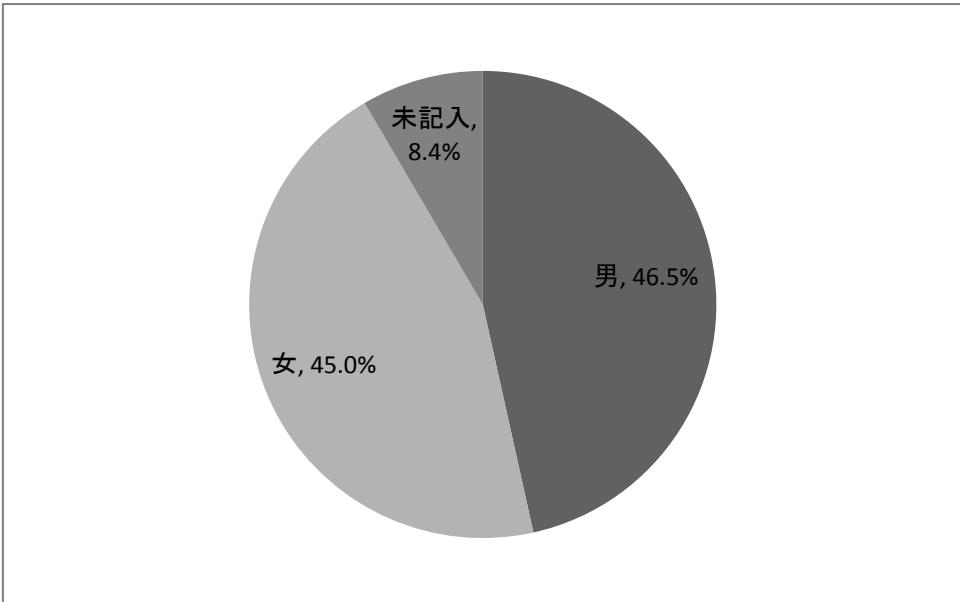
年代

	人数	割合
~20代	33	4.9%
30代	73	10.8%
40代	99	14.7%
50代	75	11.1%
60代	179	26.5%
70代~	206	30.5%
未記入	10	1.5%



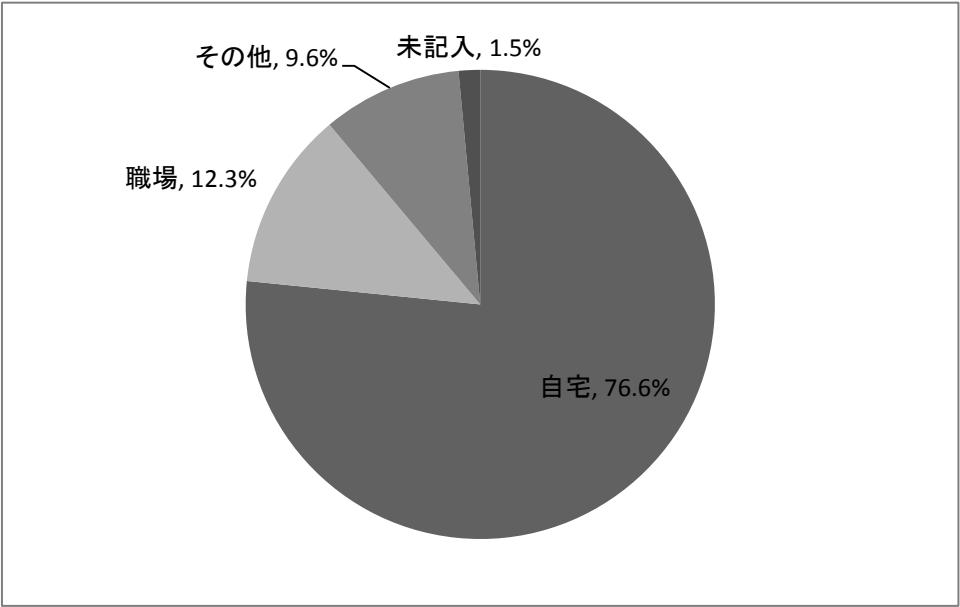
性別

	人数	割合
男性	314	46.5%
女性	304	45.0%
未記入	57	8.4%



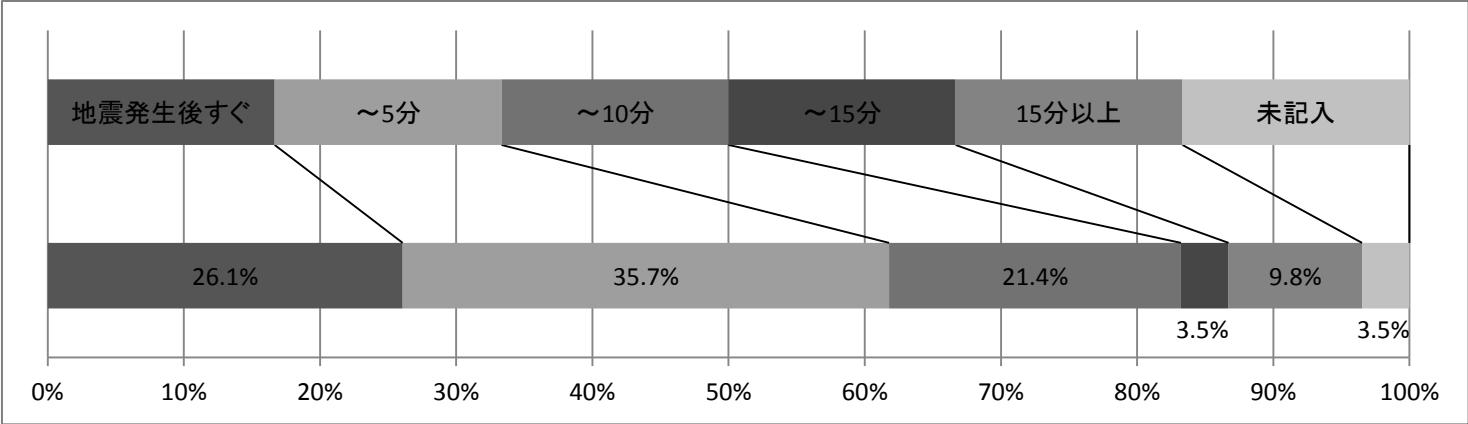
■地震発生時刻（8時30分）の所在（N=675）

	人数	割合
自宅	517	76.6%
職場	83	12.3%
その他	65	9.6%
未記入	10	1.5%



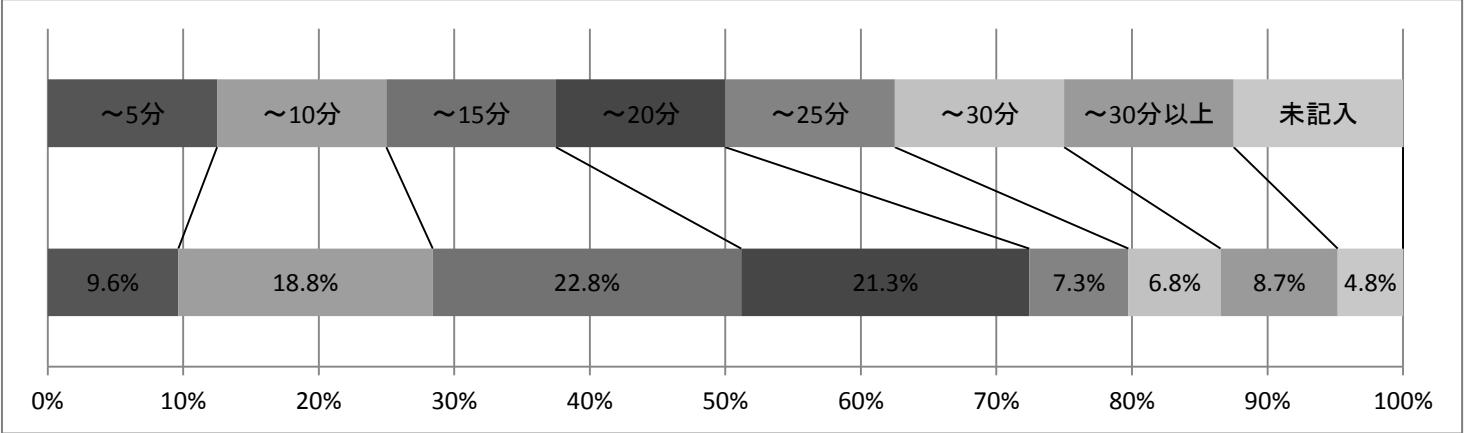
■地震発生時刻（8時30分）から避難開始までの所要時間（N=602（無効票73票を除く））

	人数	割合
地震発生後すぐ	157	26.1%
～5分	215	35.7%
～10分	129	21.4%
～15分	21	3.5%
15分～	59	9.8%
未記入	21	3.5%



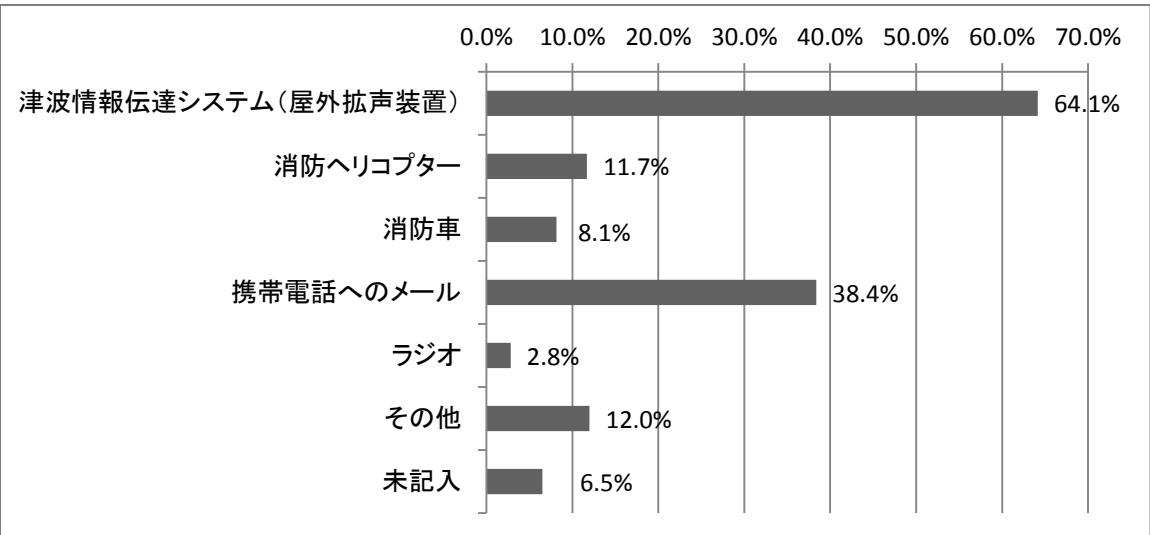
■地震発生時刻（8時30分）から避難場所へ到着するまでの所要時間（N=602（無効票73票を除く））

	人数	割合
～5分	58	9.6%
～10分	113	18.8%
～15分	137	22.8%
～20分	128	21.3%
～25分	44	7.3%
～30分	41	6.8%
～35分	13	2.2%
～40分	22	3.7%
～45分	11	1.8%
～50分	3	0.5%
～55分	0	0.0%
～60分	3	0.5%
60分～	0	0.0%
未記入	29	4.8%



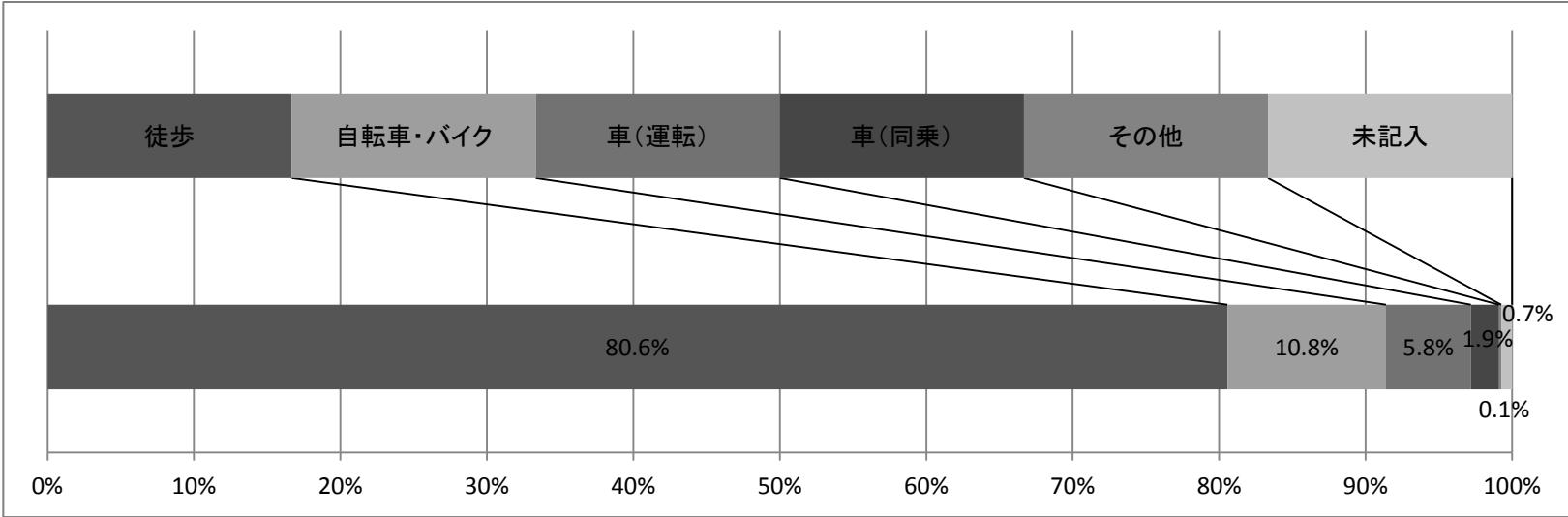
■訓練における大津波警報（津波情報）の入手手段（N=675）
（複数回答）

	人数	割合
津波情報伝達システム（屋外拡声装置）	433	64.1%
消防ヘリコプター	79	11.7%
消防車	55	8.1%
携帯電話へのメール	259	38.4%
ラジオ	19	2.8%
その他	81	12.0%
未記入	44	6.5%



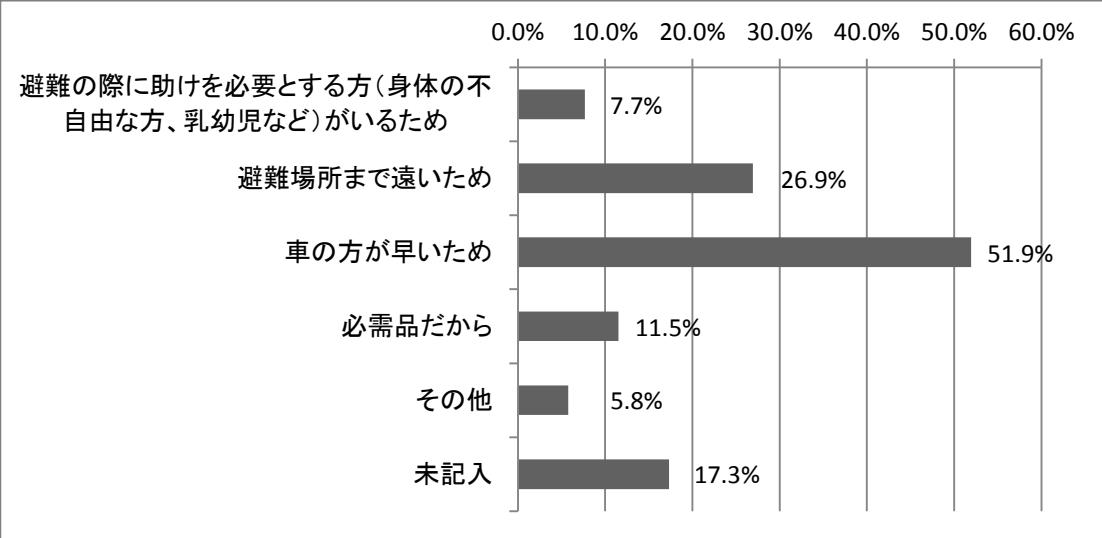
■避難手段（N=674）

	人数	割合
徒歩	543	80.6%
自転車・バイク	73	10.8%
車（運転）	39	5.8%
車（同乗）	13	1.9%
その他	1	0.1%
未記入	5	0.7%



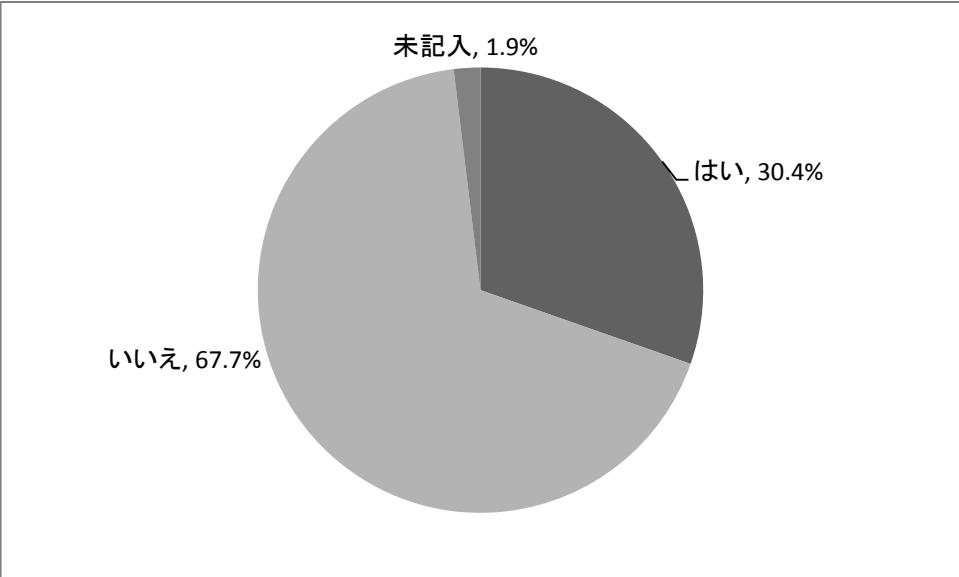
■（前問で「車」を選んだ方）車の選択理由（N=52）
（複数回答）

	人数	割合
避難の際に助けを必要とする方（身体の不自由な方、乳幼児など）がいるため	4	7.7%
避難場所まで遠いため	14	26.9%
車の方が早いため	27	51.9%
必需品だから	6	11.5%
その他	3	5.8%
未記入	9	17.3%



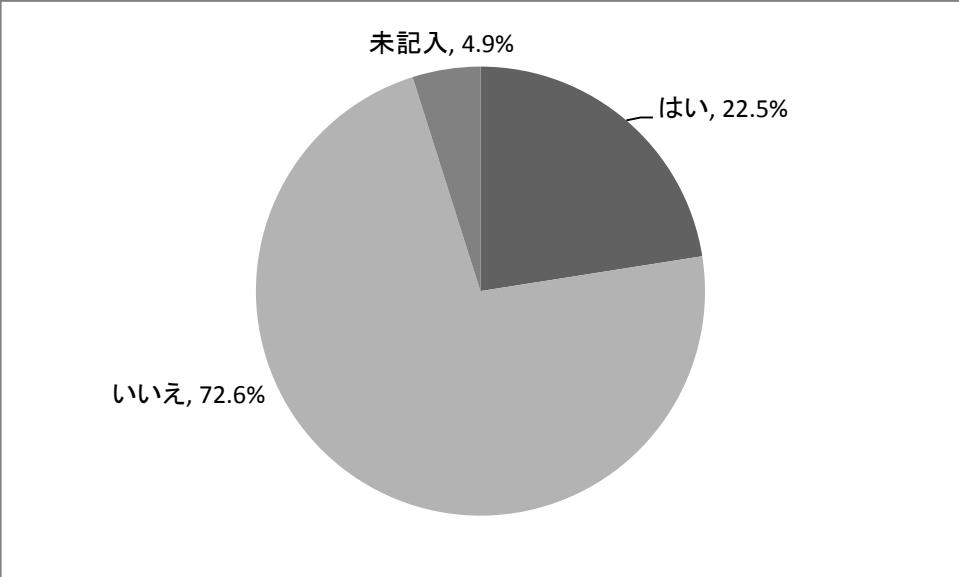
■隣近所へ声をかけたか (N=675)

	人数	割合
はい	205	30.4%
いいえ	457	67.7%
未記入	13	1.9%



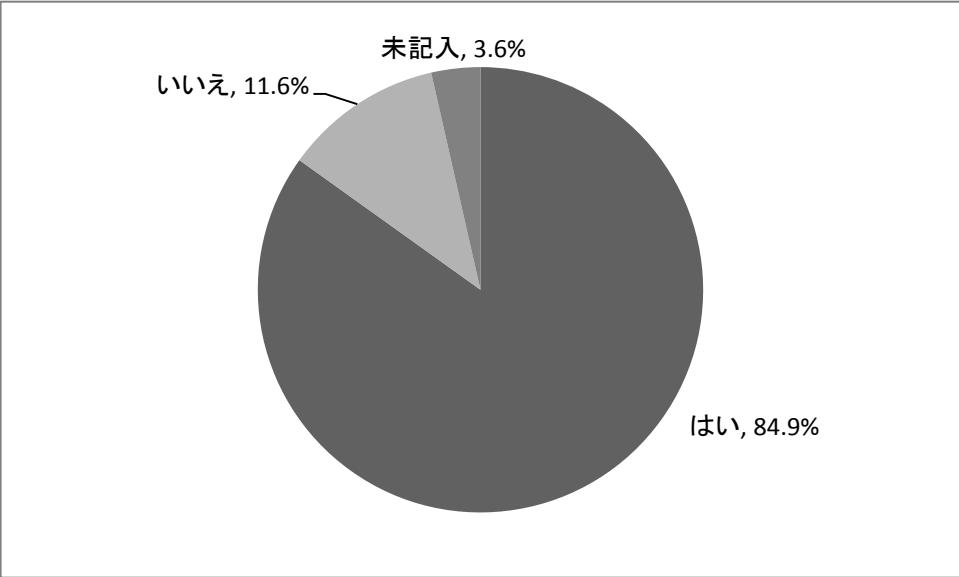
■隣近所から声をかけられたか (N=675)

	人数	割合
はい	152	22.5%
いいえ	490	72.6%
未記入	33	4.9%



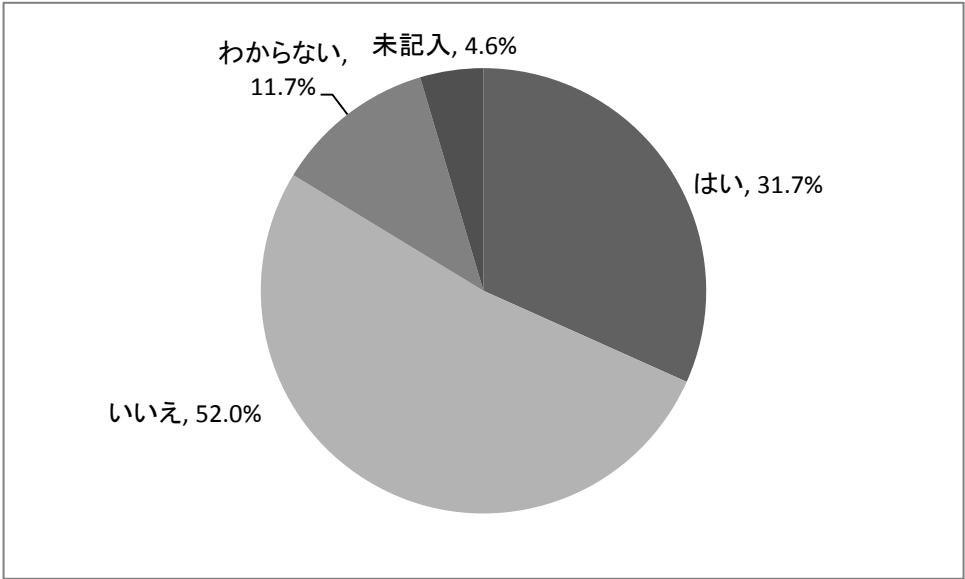
■避難場所を決めているか (N=675)

	人数	割合
はい	573	84.9%
いいえ	78	11.6%
未記入	24	3.6%



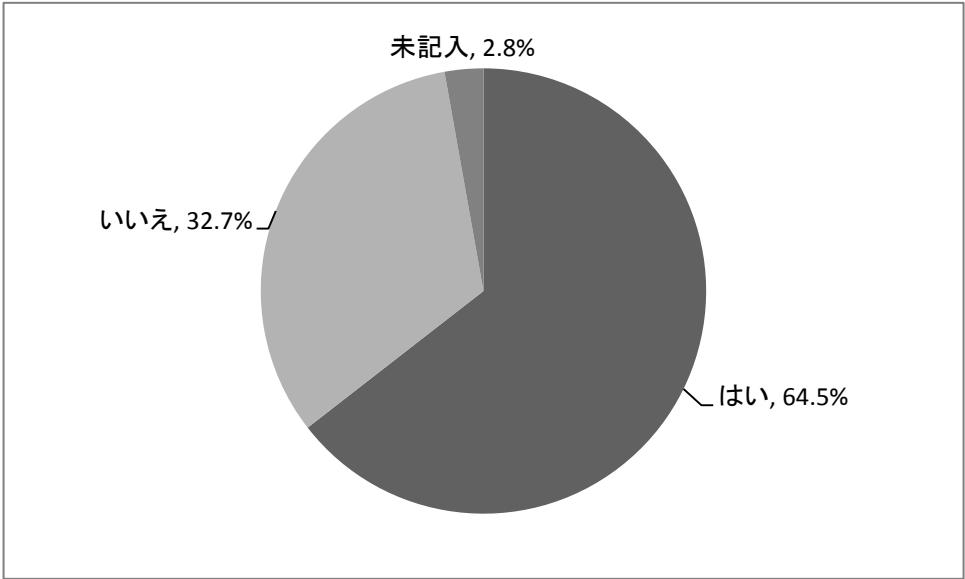
■ 家族や近所に避難困難者がいるか (N=675)

	人数	割合
はい	214	31.7%
いいえ	351	52.0%
わからない	79	11.7%
未記入	31	4.6%



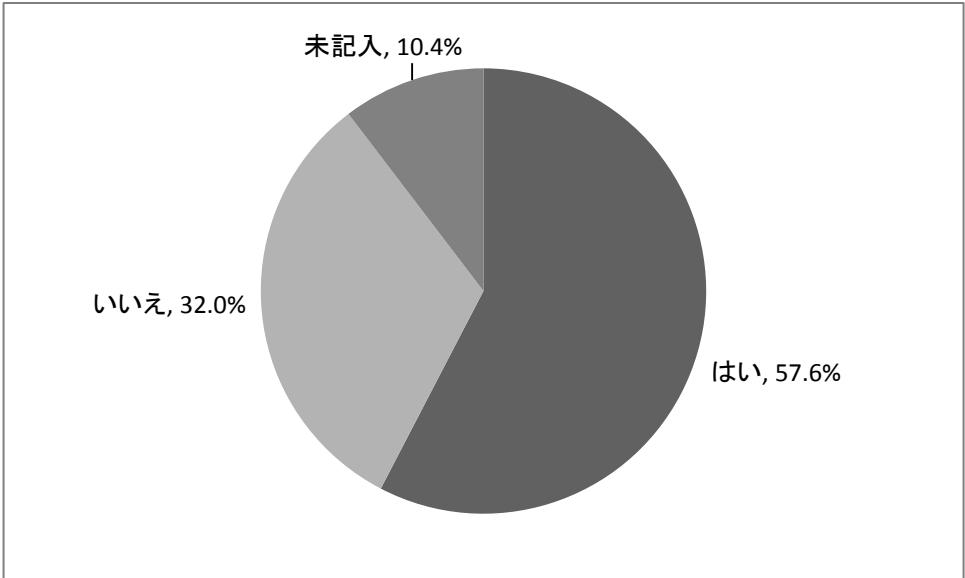
■ (前問で「はい」を選んだ方) 避難支援方法を決めているか (N=214)

	人数	割合
はい	138	64.5%
いいえ	70	32.7%
未記入	6	2.8%



■ 非常用持出袋を用意しているか (N=675)

	人数	割合
はい	389	57.6%
いいえ	216	32.0%
未記入	70	10.4%



■訓練についての感想や意見（N=195） <抜粋>

<訓練内容>

- 自宅が津波到達地点なので大変役立ちました。
- 津波発生時の避難イメージができた。
- 車椅子で上る場合、どのくらい時間がかかるか知りたかったので参加した。ゆっくり歩いてどのくらいか分かったので安心した。将来、親の介護の時に役立てればと思う。次回は、車椅子を使って上ることができたら、もっと安心かと思う。
- 緊急時にどこに逃げればいいのか分かるので助かった。
- 定期的に訓練があることは良いことだと思う。津波の怖さを忘れないために。
- 小さい子連れや老人など、屋上まで急いで上るのは大変だと思いました。
- 高齢者施設のため、避難が難しい。
- 一気に屋上まで階段を上るのは少々きつく、混みあっている時は自分のペースで上るのは難しかったり、高齢者は大変だと思った。
- 避難場所が分かり、良かったです。
- 車椅子での避難も経験が必要かと思います。夜の避難訓練も。
- 避難所での情報伝達の工夫が必要。情報が伝わらない。
- 夜間の訓練もあるといいですね。

<防災意識>

- 普段の訓練の必要性はいつも感じています。
- とにかく逃げることを心がけています。
- お互いに協力し合うことが必要と思う。自分の命は自分で守ること。
- やはり訓練ということで少し緊張感に欠けますが、普段からもっと心構えをしっかりとやりたいと思いました。
- 3.11で得た多くの教訓を無駄にしないためにも、日々の心がけと年一回のこのような動機付けが大切だと思います。
- 日頃の備えの重要さを感じております。
- 参加者は訓練ということで真剣ではなかったと思います。「訓練でも」という意識改革が必要かと思いました。
- 町内の住民がもう少し参加したら良いのでは。特に子ども。
- 今日の訓練を終えた後、再度、非常用持出袋の中身を確認したり、家庭でも避難場所の確認をあらためてしようと思いました。
- 訓練では家族みんなが揃っていたのでスムーズに行動がとれたと思います。普段からもっと万が一に備えた話し合いをしていこうと思いました。

<その他>

- 避難タワーができて、より安心しています。
- 屋外拡声装置の音が聞きとりにくい。
- ペットのことももっと詳しく知りたかった。